

私学振興大会で檄を飛ばす



▲ 壇上には、朴澤理事長・佐々木校長・内馬場PTA会長の姿が



▲ 明成高等学校のアピール



▲ 応援団も大いにもりあがりました

明成高校は、こんなことをアピールしました。(一部抜粋)

来年で創立140周年を迎え、2020年を目途に、現在、学科・コースの見直しと新校舎建設を進め、新たな時代への改革に取り組んでいます。

卒業生では、男子バスケットボールで、アメリカのゴンザガ大学に進学した、八村塁選手は、「帰ってきた希望」として日本代表に呼ばれ、現在、日本チームをオリンピック出場に導くべく、チームの大黒柱として、活躍をしています。

介護福祉科は全国高校生介護技術コンテストに2年連続で出場を果たしました。また、調理科は高校生和食料理コンテスト本選で入選し、明成高等学校の専門的な知識技術の高さを示すなど専門的な学科の特色を大いに発揮しました。

学校・保護者・同窓会そして姉妹校の仙台大学が4者一体となって、「目と手をかける学校、社会の要請に応える学校」として、プロの育成を目指しています、私たち明成高等学校からも私学助成金の増額をよろしくお願いいたします。

会場の皆様から、明成高校の活躍に対して、賞賛と激励の拍手を何度もいただきました。